

手作りミュージカル ステージいっぱい熱演

今伝えよう 一関の年輪

市民ダンスミュージカル「今伝えよう 一関の年輪」(主催:みんなでミュージカル実行委員会・千葉真由美委員長)は8月13日、一関文化センター大ホールで行われました。戦後間もない一関を襲ったカスリン・アイオン台風による大水害。その失意と絶望の中から力強く復興に立ち上がった市民の姿を描く、キャスト・スタッフ共に市民による創作ミュージカルで、幕間には作品の基となった市内のアマチュアカメラマン・故横田実さんの写真集から、水害の惨状などを生々しく伝える写真の数々が映し出されました。市出身の俳優岩淵憲昭さんを賛助出演・演技指導に迎え、1月から練習に励んできた5歳から60歳代までの出演者51人は、力強い演技、ダンス、歌で、2回の公演をステージいっぱい熱演し、会場を埋めた観客から大きな拍手が送られていました。主役のサエコを演じた岩淵育子さん(50)=赤荻=は「今回の公演を通し、一関には若い力がみなぎっていると感じました。その力が一関の明るい未来を築いていくと確信しています」と、大成功のステージを成し遂げた喜びを語りました。



上 失意の中から立ち上がる市民の姿を力強く歌い上げました
左 洪水で流された幼い命が救われた喜びのシーン



大会出場の報告に訪れた選手たち

全国大会出場を報告

一関ソフトテニススポ少

全日本小学生ソフトテニス選手権岩手県予選で上位入賞し全国大会出場を決めた一関ソフトテニススポーツ少年団の監督、選手3組らが7月26日、市役所を訪れ、浅井市長に出場を報告しました。

全国大会出場を果たしたのは、県予選で男子2位の合川幸貴君(一関小6年)・佐々木恭君、同3位の佐藤駿君・伊藤健人君、女子2位の山田朋夏さん・千葉優美さん(以上萩荘小6年)。浅井市長が「いつもの力を出して活躍することを祈ります」と激励すると、選手を代表し伊藤君が「練習の成果を発揮して頑張ります」と決意を述べました。全国大会は7月27日から30日まで、高知市で行われました。

はつらつプレーに大歓声!

いきいきシルバースポーツ

第15回一関地域いきいきシルバースポーツ大会は7月22日、一関運動公園陸上競技場で行われました。地域内8地区の対抗戦により競われた同大会には、60歳から最高齢82歳までの選手約800人が参加。小雨模様の天候をものともしない、若々しくパワーあふれるプレーの連続に、盛んな声援が送られていました。会場には一関鍼灸マッサージ師会によるボランティアマッサージコーナーも設けられ、選手は気持ち良さそうに体をほぐしてもらっていました。

結果は次のとおりです。①山目②巖美③萩荘④一関⑤中里⑥真滝、舞川⑧弥栄



日ごろ鍛えたスティックさばきを発揮「ゲートボールリレー」



川崎支所前で行われた壮行会で健闘を誓う選手たち

力を合わせて健闘

川崎中ソフトボール部初の全国大会へ

川崎中女子ソフトボール部は、7月16、17日の両日花巻市で行われた県予選代表決定戦で東和を8-5で破り、大阪市で催された第6回全日本中学生男女ソフトボール大会に初出場を果たしました。出発前には川崎支所、本庁をそれぞれ訪問し、「応援よろしくお願ひします」と千葉奈津美主将(3年)が力強くあいさつ。ベスト4入りを目標に頑張りました。

全国大会では初日の8月13日、二回戦で久米田クラブ(大阪府)と対戦。0-9で残念ながら敗退しましたが、慣れない暑さの中、最後まで健闘しました。



清掃ボランティアに励む生徒たち

できることから誰かのために

川崎中生ボランティアが寿松苑訪問

川崎中学校では、生徒たちが清掃などの奉仕や、自宅の古新聞や空き缶などの廃品を持ち寄った益金を地域のために役立てるなどのボランティア活動を実践しています。

7月25日には、全校生徒の8割に当たる生徒107人が自主的に参加し、特別養護老人ホーム寿松苑でガラス清掃や草取り作業に汗を流しました。1時間ほどの作業の後、廃品回収の益金で購入したCDラジカセの同苑への贈呈も行われ、入所者に大変喜ばれました。「誰かのために何かしたい」という生徒の気持ちが伝わる、心温まるひとときとなりました。

にぎやかに諏訪様例祭

かわさき夜市・天王祭

7月20日から3日間、北上大橋のたもとにある『浪分神社』の例祭・天王祭が催されました。祭神の『スサノオノミコト』にあやかり、疫神疫病を払う祭りで、川崎地域の夏の風物詩の一つです。

最終日の22日にはかわさき夜市でにぎやかなか、地元神輿奉賛会「諏訪川崎会」を中心に荒神輿が練り出し「セイヤ、セイヤ」と威勢のいい掛け声が響きました。夜半には伝統の「お鳩取り」の神事も行われました。



祭りを盛り上げた神輿渡御(みこしとぎよ)

お盆には「葉焼」を

川の大楽校で専門講座

お盆にはお仏様に「葉焼」をお供えしてー。

川の大楽校専門講座「第2回地元のお料理教室」が8月1日催され、15人が受講しました。この地方に昔から伝わる「葉焼」の作り方を川崎町生活改善グループ連絡研究会の伊藤ナツ子さん、小山アサ子さんが講師となり、参加者に伝授しました。

この「葉焼」は、小麦粉・黒砂糖・みそ・クルミを練り、ミョウガの葉にはさんで焼き上げます。クルミの代わりにブルーベリーを練り込んだものも大好評。普段あまり作られなくなったこともあり、参加者は素朴な優しい甘さをかみしめていました。



甘いその香りが漂った調理実習